

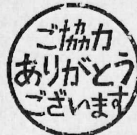
よっ葉だより

2022 年
12月12.日号
No.726

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862



年末年始の配送スケジュールのご確認を！

年末の配送は変則的です。くらら12月4週とおせち特別号で注文した商品の配送はいつもと曜日が違い、元日～8日(1月1週)の配送はありません。年末にたくさん注文しましょう。1月2週の注文書提出 12/24(土)～12/28(水)もお忘れなく!!

12 December 2022 (令和4年)



Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
11	12	13	14	15	16	17
← 12月2週通常配送 →						
18	19	20	21	22	23	24 月
← 12月3週通常配送 →						
25 火	26 水	27 木	28 金	29 月	30 火	31 水
12月4週商品お届け 1月2週注文書回収 1月3週くらら配布				おせち特別号商品お届け		

12月4週の配送は
2日前倒し!!

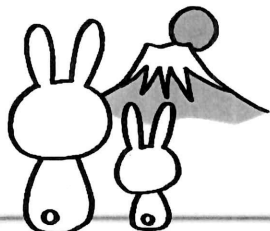
同時に1月2週の注文
書提出をお忘れなく!!

いつもの配送曜日

12月4週配送・
1月2週の注文書提出日

月	火	水	木	金
24日 (土)	25日 (日)	26日 (月)	27日 (火)	28日 (水)

1 January 2023 (令和5年)



Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
← よっ葉生協お休み →						
8	9	10	11	12	13	14
→ 1月2週より通常配送 →						

年末の3日間のおせち特別号
の配送です。
(注文書の提出は無し)

年末の電話お問い合わせ
受付時間

12/29(木)・12/30(金) 17:00まで

12/31(土) 15:00まで

今週配布の「くらら12月4週」では、
年末年始のまとめ買いにお得な商品をご案内しています。いつもより2日早く届きますが、年明けの食材の買い置きも必要です。よっ葉でおいしく健康的な食生活で新年をスタートできるよう、やりくりしてみましょう。

お米の用意は大丈夫ですか? 調味料は足りませんか?
おせち特別号では定期配送・登録商品のお届けはありません。ご注意ください。

12月4週 7 充填きぬどうふ

賞味期限20日です!
すくい豆腐の代わりに
いかがですか?

よっ葉の産直野菜は日持ちが良いです!
泥付き野菜は冷蔵庫不要!

参加者 4000 人！「全国オーガニック学校給食フォーラム」が開催されました

給食をオーガニックにすることは、地域の農業を支え、食料自給率を上げ、環境を守り、私たちの身体を健やかに育み、雇用や経済までも豊かに変えることが出来る最善の方法… 「オーガニック給食宣言 2022 年 10 月 26 日」より

10 月 26 日、東京都中野区で開かれたフォーラムには、市民や自治体関係者、有機農業生産者など、会場とオンラインで全国から約 4000 人の参加がありました。冒頭では全国各地から、有機学校給食に取り組んでいる、あるいは実現に向けて動き出した自治体の首長 23 名の挨拶があり、よつ葉生協も協力して有機農業の推進に取り組んでいる小山市長や塩谷町長の姿も。「学校給食」という子どもの健康と地域経済の一翼を担う公共事業に、有機の価値を認めることが、全国的に広がりつつあることを感じました。

海外の先進事例として、フランスと韓国の報告や、国内の実践している地域からの報告など、有機学校給食の意義や取り組むうえで参考になるお話がたくさん聞け、全国に大勢の仲間がいることを実感できるフォーラムでした。

「うちの子が通う学校の給食も、オーガニックになったら良いのに…」そんな消費者の思いが、声を上げることで「有機農業の推進」「地域経済の活性化」の願いと共にうねりとなって、行政を動かし始めています。よつ葉生協も、組合員の皆さん、生産者の皆さんと一緒に、このうねりを広げていきたいと思います。

(理事 堀)

～参加した方の感想～

食べる物で身体はつくられるので、やっぱり食べ物は大事ななあと思われました。小さい頃から食べ慣れた味は大人になっても覚えていると思うので、学校給食で有機で作られたお米や野菜をどんどん食べて欲しいと思いました。

オーガニックは食べる人にも作る人にとっても身体にも環境にも良いので栃木県でも早く始まるといいと思います。

栃木委員会 佐藤さん

思った以上に参加者が多く、オーガニック給食に対する関心の高さが伺えました。またすでに実際にオーガニック給食を取り入れている市町村の方々のお話は興味深く、今後オーガニック給食を取り入れたいと思う私達に希望を与えてくれるものでした。特に心に響いたのは、すでに地元産 100%有機米を使用している千葉県いすみ市の職員の方のお話で、**全国の学校を有機米にするには、今ある耕作地を 2%変えることで実現する**ということでした。これは 2030 年までに実現することを目標に掲げているのですが、それが実現するとその有機米を食べて育った子供達が親になるので（そうすると家庭でも有機米を食べたいというニーズは当然高まり）、国の掲げる 2050 年までに有機農地が全体の耕作地の 25%になるのも夢ではないのでは、という希望あるお話でした。一人一人の意識が少しずつ変わっていく事がやがて大きな流れになるのだと改めて気付かされ、私もこれからの子供達が安心安全に暮らしていける日本になるように出来ることから始めていきたいと思いました。

栃木委員会 古橋さん

フランスの学校給食に関しては、認定レベルがあり学校などで認定して貰えるという事で基準があると実施しやすいのかな、と思いました。韓国の給食は無償 100%でシステムが出来上がっていて参考に出来る部分が有りそうな感じがしました。日本のオーガニック給食に関しては、まず全国の数々の市町村で取り組んでおり、2030 年までに全国の学校給食のお米を 100%にする！という事で出来るのかな、なんて思いましたが、実際には**全国水田の 2%を有機にすれば可能**なので案外出来るのかなあ、と。数字で見ると思いました。(後略)

栃木委員会 高際さん

よつ葉の仲間の活動紹介

「元氣な未来へつなぐ会もおか」は 2018 年 2 月に行われた、本間真二郎先生の講演会を真岡市で開催するにあたり集まった会です。

2020 年には「映画いただきます上映会&安田節子先生講演会」を開催。最近では、「映画いただきます 2 オーガニック給食編」の上映会や、「全国オーガニック給食フォーラム」をサテライト会場として開催しました。

10 月 26 日に行われた「全国オーガニック給食フォーラム」では、オーガニック給食をどう進めていいのかわからない...有機農家が少ないから無理...と思われる自治体が、ゼロからのスタートでも大丈夫！と思える内容でもありました。

昨年末から年明けにかけて、真岡市の「より安全な学校給食」を求める署名の署名集めを行いました。皆様から頂いた署名を、市長および教育長に提出したことで、農政課では有機農業の開拓に取り掛かる運びになりました。10/26 のサテライト開催に参加も頂き、様々な事例を参考に事業に着手していかれると期待します。

私達はこれからも、市民(消費者)や行政へも働きかけを続けていきたいと思っています。

「元氣な未来へつなぐ会もおか」では、随時活動メンバーを募集しております。気になるかたはお気軽に Facebook ページへメッセージまたは、メールにてお問い合わせください。

✉ genki.moka2018@gmail.com

(真岡地区 前野)



参加してみませんか

地産地消～守ろうふるさと のこそう緑の大地～
秋山さんの里山で落ち葉さらいをしよう！



落ち葉さらいは、里山の環境を守り、よい土を作る堆肥のためにも大切な作業です。
秋山さんの野菜がおいしいのは、落ち葉の堆肥をたっぷり使っているからです。落ち葉さらいを通して、自然の恵みを循環させる営みを実感しましょう。

日 時：2023 年 1 月 21 日（土）
10：00～12：00（受付 9：45～）
会 場：グリーン研・秋山さんの里山（栃木県下野市薬師寺 2940 付近）
参加費：無 料 託 児：な し
締切日：2022 年 12 月 28 日（水）
※12 月 4 週の配送は 12/24（土）～28 日（水）です。
いつもと配送日が異なるのでご注意ください。
主催・問合せ よつ葉生協 本部 中村 TEL 0120-07-1613
※状況によっては、抽選となる場合があります。
※食事の提供はありません。
※P4 の共通申込書でお申込みください。
※ご案内は 1 月 11 日以降に郵送します。

よつ葉文庫



NO.1289 『少年時代～飛行機雲はるか～』 塩野米松 理論社

昭和 30 年代、子ども達はどんな遊びをしていたのでしょうか？
東北の田舎の子どもがごっこ遊びを真剣にぶつかって、1 つの社会が出来ていく様子は、子どもの世界とはいえ、ハラハラ、ドキドキです。
小説ですが、ゲームが子どもの遊びの中心になる前は、遊びの道具を自分で作り、身体を張って、生傷が絶えない毎日を過ごしていた様子が、目に浮かぶように再現されています。
春には春の遊び、夏・秋・冬の移り行く季節の中で野山をかけ、川に入り、毎日次から次と繰り広げる、やんちゃ坊主の遊びと冒険はそれなりの正義感に裏打ちされていました。
決闘をして、最後は皆でこの鍋で手打ちをする子どもたちのしめ方は、大人より仲良く地域で生きていくすべを心得ていました。
拍手を贈りたいです。 (会長 富居)

地域見守り
活動報告



よつ葉生協組合員宅への配送では、管内の自治体と地域見守り協定を結び、組合員や地域住民、道路状況の見守りの役割を担っています。この秋、組合員さん宅で先週のお届け商品が手づかずで置いてある事例が二件あり、地域の福祉課を通じて亡くなられていることが分かりました。
亡くなられた組合員様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。
迅速に対応した組合員組織部の古澤清美職員、塩谷センター邊見真史社員に感謝状をお渡ししました。
(理事長 三輪)

組合員様、地域への配慮、地域見守り活動の目的・意味を理解した上、組合員様の異変に気づけた行動は称賛に価すると捉えております。また、様々な状況下の中、適切な判断が出来たことは他の模範となります。少しでも組合員さまや地域の皆様に対して社会貢献が出来る様、よつ葉生協一丸となり、組合員様の暮らしと健康を守る為に地域見守り活動を継続して参ります。

よつ葉生協 配送統括責任者 肥後 隆章



「原発はNO！」 さようなら原発！ 栃木アクション

11 月 19 日（土）、さようなら原発！ 栃木アクション 2022（事務局代表大木一俊弁護士）が開かれ、よつ葉生協は実行委員として参加しました。パレードは 3 年ぶりの実施で、脱原発弁護団全国連絡会共同代表の海渡雄一弁護士の報告、絵本作家のいわむらかずお氏、鹿沼市長佐藤信氏、塩谷町長見形和久氏のメッセージに続き集会アピールが披露され、多くの有志が宇都宮駅近くまで 2.2km を歩きました。

東日本大震災後の福島第一原発事故から 11 年。廃炉作業は、被曝しながら働く人々無しには成り立たず、くらしを壊されてしまった住民の帰郷も進んでいない現状です。

茨城県那珂郡東海村の東海第二原発の再稼働にも「NO！」の声も上げました。東海第二



原発は運転開始から

43 年と老朽化し、東日本大震災では津波の浸水被害も出して発電を休止していますが、電力会社は再稼働を求めています。昨年 3 月には水戸地裁が「避難計画策定が難しいので原子炉を運転してはならない」と判決を出したにも関わらず控訴、40 年とした原発の運転期間を 20 年延長させる原子力規制委員会の認可を受け、この冬の再稼働が目論まれているからです。

原子力は「全てのいのち」と共存できない、東日本大震災の過ちを繰り返してはならない、強い思いをもって取り組みを続けます。

（理事長 三輪）



組合員さんの声

よつ葉生協 40 周年 おめでとうございます♪
よつ葉さんがやってくれているから、自分で吟味しなくてもいいというのは、とても安心で助けになるということを考えるようになりました。
これからも「安心して食べられる食材」の提供をお願ひします。

（真岡地区 E・U さん）

<よつ葉だより休刊のお知らせ>

年末年始のため 12 月 26 日～2023 年 1 月 16 日号のよつ葉だよりは、お休みさせていただきます。ご理解の程よろしくお願い致します。



共通申込書

希望する行事名に ☒ してください
口秋山さんの里山で落ち葉さらいをしよう！

組合員番号	氏名
住所	
連絡のつきやすい電話番号	
参加人数	人 ※同居の家族は組合員に含みます
(大人) 組合員	人
(大人) 組合員以外	人
(小・中学生)	人 歳 歳 歳
(未就学児)	人 歳 歳 歳
参加者のアレルギー	無・有 ()

託児：6 カ月以上のお子様から 人 歳 歳 歳 歳
お子さんのアレルギー 無・有 ()

備考欄

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告 (11 月 5 週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位：円)

栃木コロナ支えあい基金 (860 番)	6, 300
群馬コロナウイルス対策募金 (861 番)	3, 000
茨城誰かのために募金 (862 番)	1, 600
合 計	10, 900

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。

WEB 注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。
一口 100 円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (11 月 5 週分)

ご協力ありがとうございます。

組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位：円)

放射能から子どもを守る募金 (900 番)	6, 000
震災孤児を支援する募金 (910 番)	17, 500
「有機農業と国産種子」募金 (920 番)	8, 800
合 計	32, 300

共同購入注文書裏の「10 品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。

WEB 注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。
一口 100 円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました。

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram